

平成24年2月14日(火)
中央環境審議会瀬戸内海部会企画委員会
現地ヒアリング瀬戸内海(中部)

資料3-1

せとうち海援隊の活動から考えた豊かな海

広島県環境県民局環境保全課
環境評価・瀬戸内海グループ
発表者：沖本 真朗



写真：広島市南区元宇品海岸

目次



はじめに

- 1 **せとうち海援隊について**
- 2 **せとうち海援隊などによる生物調査**
- 3 **豊かな海を目指して**
～せとうち海援隊の活動から考えた豊かな海とは～

「環境にやさしい広島づくりと次代への継承」

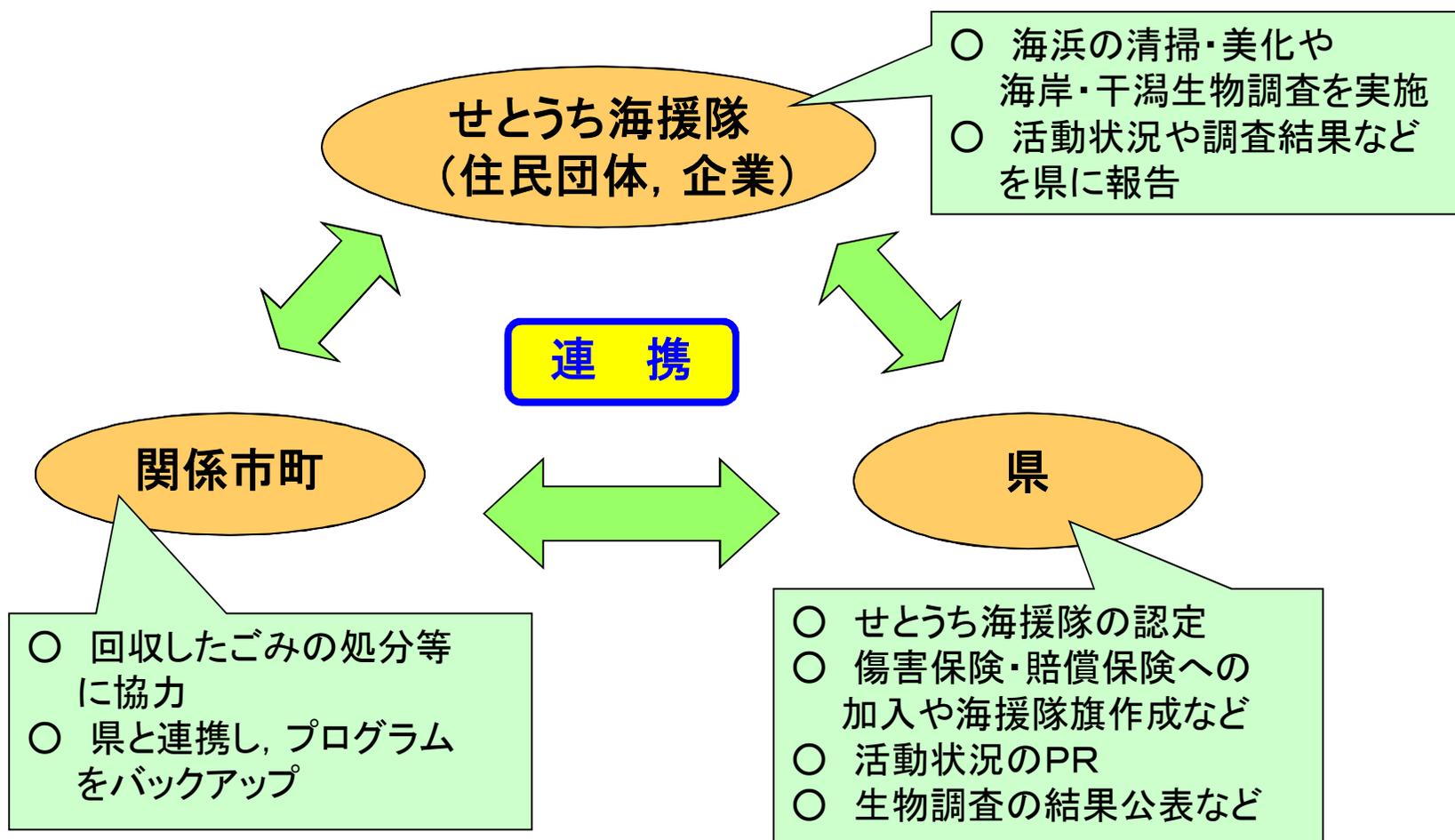
～持続可能な社会に向けて、あらゆる主体が考え行動することで、広島が変わる～

- 「ひろしま未来チャレンジビジョン」(平成22年10月策定)を環境の面から推進するため、平成23年3月に広島県環境基本計画を策定した。
- 今後目指す環境の姿(将来像)の一つとして、次の姿を提示している。

環境学習が充実しており、誰もが環境に配慮した行動をとり、また、地域の一員として地域活動やボランティア活動に積極的に参画している

- 目指す姿に向けた施策の例
多様な主体との連携・協働(せとうち海援隊など)

1 せとうち海援隊について(1) ～制度の仕組み～



1 せとうち海援隊について(2)

~どんな団体に御協力いただいているか~

□ 団体のタイプ

① 地縁型組織

自治会, 地区公衆衛生推進協議会など

② 目的型組織

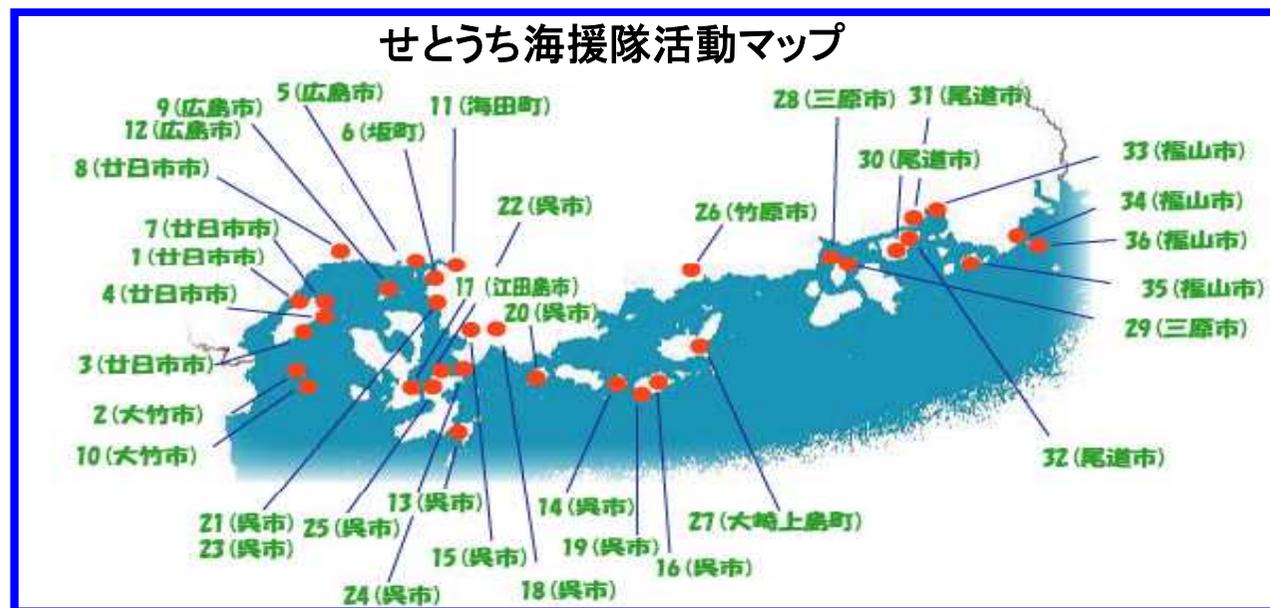
環境, 趣味(ヨット, 釣り)など

③ 教育機関

小・中学校(総合学習)

④ その他

学生サークル, 企業ボランティアなど



① 地縁型組織タイプ ～海越女性会（呉市倉橋町海越地区）～

- 地域の女性会の活動として、昭和30年代から、春から秋にかけて毎月、海浜清掃を実施している。
- 約60人が朝6時から、消波ブロックの間にたまったごみなどを回収・分別する。
- 回収されたごみには、空き缶のほか、お弁当のトレーなどポイ捨てされたと思われるものも多くまだまだ意識啓発が必要と感じた。



《ブロックの間のごみは回収も一苦労》
平成23年7月17日撮影

② 目的型組織タイプ(環境) ~環境市民ネットまつなが~



平成23年11月5日撮影

- 毎月1回程度, 集まりやすい昼休憩などに集合し, 干潟や川岸等の清掃を実施している。
- 通常は, 3~5人の活動だが地元企業の協力等で 20数人になることもある。
- そのほか松永湾の水質・生物調査を実施している。
- 把握した課題等を行政と一緒に解決できるような制度があると, 海浜清掃や生物調査などの活動も一層意義あるものとなる。
(せとうち海援隊意見交換会より)



環境市民ネットまつながHPより



② 目的型組織タイプ(レジャー) ~NPO法人佐伯帆走協会~



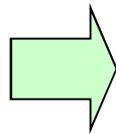
- 一般の方に、ヨットなどの海洋レジャー・スポーツの機会などを提供し、海での楽しみ方のバリエーションを広げてもらうとともに、瀬戸内海を次の世代へ美しく残すための活動を行っている。
- 数年前から、ベトナムからの留学生を対象に、広島ベトナム協会と共催で「海の日体験ヨットクルージング」を行っており、前日には、ヨットでの上陸場所となる宮島包ヶ浦海岸において、念入りに海浜清掃を行った。
- イベント当日にも、留学生によるゴミ拾いの時間が設けられ、国境を越えて、海を愛する気持ちが広がる良い機会となった。

平成23年7月17日佐伯帆走協会撮影

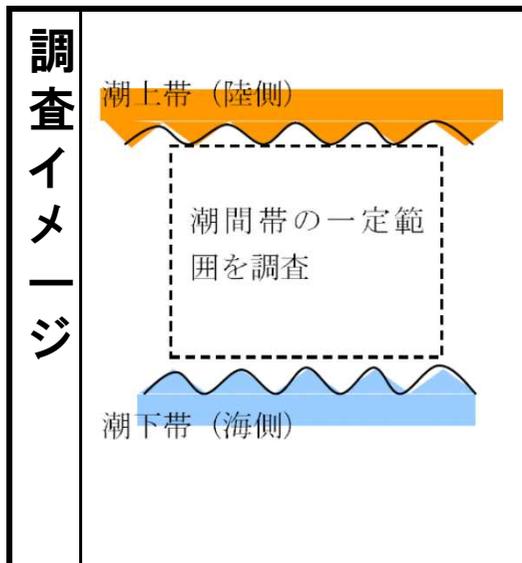
2 せとうち海援隊などによる生物調査(1)

広島県海岸・干潟生物調査マニュアルが使われている

どんな生きものがあるのか調べる。



○ 確認した生物の種類により採点し、海の汚れの程度を4段階(「きれいな海」から「大変よごれた海」まで)で判定する。



「広島県の海岸生物モニタリング調査報告書」
(広島県環境保健C)

～マニュアルのできるまで～

- ① 広島湾に生息する潮間帯生物を調査
- ② 代表的な種について、COD値等との関係を明らかにし、分布状況から水質状況を推定するための簡易な評価式を考案

※ 呉市倉橋町横島が100となるように設定

- ③ この評価手法を用いて、県下の海域を調査

2 せとうち海援隊などによる生物調査(2) ～活用例～

・宮島の磯・生き物調査団(せとうち海援隊)では、毎月、さまざまな場所で、県マニュアル(基本編)による生物調査を実施している。

・平成23年の馬島(山口県熊毛郡田布施町)の調査では・・・



平成23年7月15日撮影

□ 確認できた指標生物
⇒20の指標生物中14を確認

□ 評価点
⇒100点中96.8点

□ 判定
⇒きれいな海

自然景観の残された場所が多く、水質も良好で水に親しめる場所として非常に重要です。

2 せとうち海援隊などによる生物調査(3) ～活用例～

調査団体が異なっても、同一地点における調査結果は、同じような傾向を示している。

調査地点	調査団体	調査年月日	備考(指標生物の数, 評価点)
広島市南区元宇品海岸	宮島の磯・生き物調査団	H18.6.21	少しよごれた海(11種, 58点)
〃	宇品公民館(海辺の体験学習室)	H19.7.29	少しよごれた海(10種, 55点)
〃	宮島の磯・生き物調査団	H20.2.22	少しよごれた海(12種, 68点)
〃	広島環境サポーターネットワーク海洋部会	H20.4.19	少しよごれた海(12種, 61点)
〃	宮島パークボランティアの会 中国企業株式会社 NPO緑の風景	H20.7.5	少しよごれた海(15種, 74点)
〃	宮島の磯・生き物調査団 こどもパークレンジャー	H20.9.15	少しよごれた海(11種, 58点)
〃	広島環境サポーターネットワーク 宮島パークボランティアの会	H20.10.13	少しよごれた海(11種, 58点)
〃	広島県	H21.6.6	少しよごれた海(12種, 61点)
〃	広島環境サポーターネットワーク(海洋部会)	H21.10.4	少しよごれた海(12種, 61点)
〃	広島県	H21.10.18	少しよごれた海(10種62点)

(広島県HPより)

3 豊かな海を目指して(1)

～せとうち海援隊の活動から考えた豊かな海～

□ 現状

瀬戸内海では、さまざまな団体(せとうち海援隊など)により、生物の調査が行われている。

□ 目指す姿

瀬戸内海を住民と行政, NPO団体などが協働してモニタリングしている状態の実現をめざす。

活動する人が「社会貢献」や「やりがい」を実感できるような制度を設ける！

3 豊かな海を目指して(2) ～せとうち海援隊のみなさまの声から～



- 生き物の観察は、県内・外を問わず、豊かな自然が多く残っている場所へ足を運んでいる。
- 同じ取り組みばかりでは飽きるのでは、環境教育など、社会に貢献できるような取り組みを行いたい。
- 団体内の高齢化も進み、あと何年継続できるか分からない。
- 環境保全活動を通じて把握した問題が、社会の課題として広く認識してもらえよう制度を望む。

3 豊かな海を目指して(3)

□ 提案

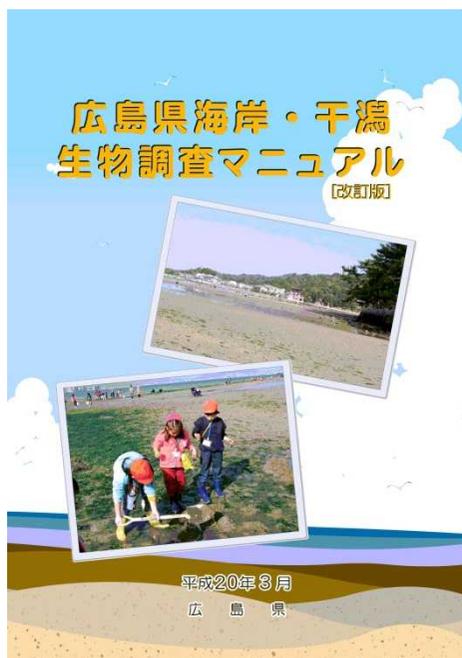
誰もが手軽に調査できる生物等を指標とした水環境の基準などを設定する。

(例)

指針や環境基準として設定, 再生法において交付金対象モニタリングを規定する, …など

いかにしてモニタリングを普及していくかなどについては, 瀬戸内海環境保全知事・市長会議でも検討を始めたところです。

豊かな海とは



広島県 生物調査マニュアル 検索



- 豊かな海とは、「瀬戸内海に触れる人が、心から、瀬戸内海があつてよかったと思える状態が実現している」ことであると考えます。
- ご清聴，ありがとうございました。

《大河ドラマ「平清盛」
広島県推進協議会キャラクター》

